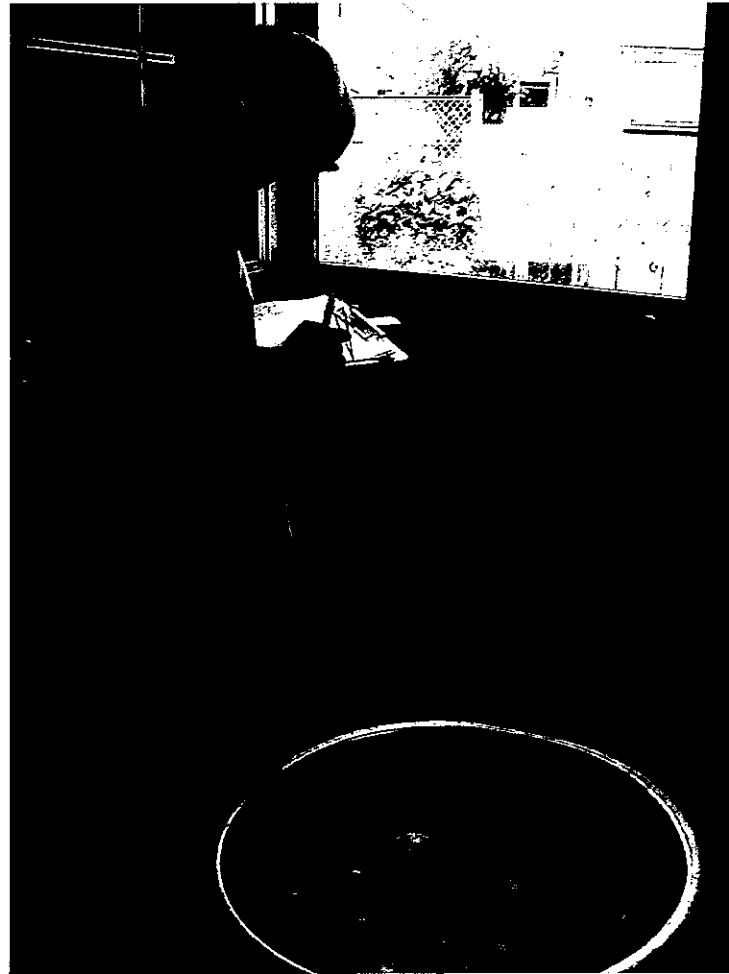


給食ができるまで

平成29年6月15日

7:30~45

食材の検品



野菜を洗う



8:00～ 野菜を切る



9:00～ 朝のミーティング



10:30～調理開始 「これは、何でしょう？」





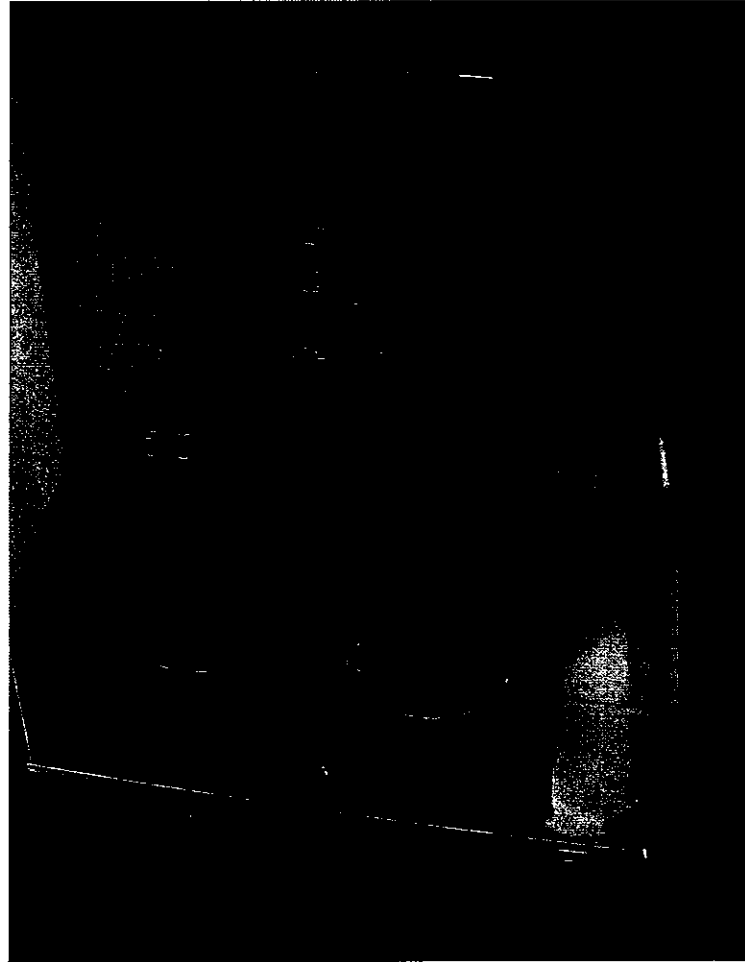
11:30～ 味付け→味見
加熱状況の確認 → 配食



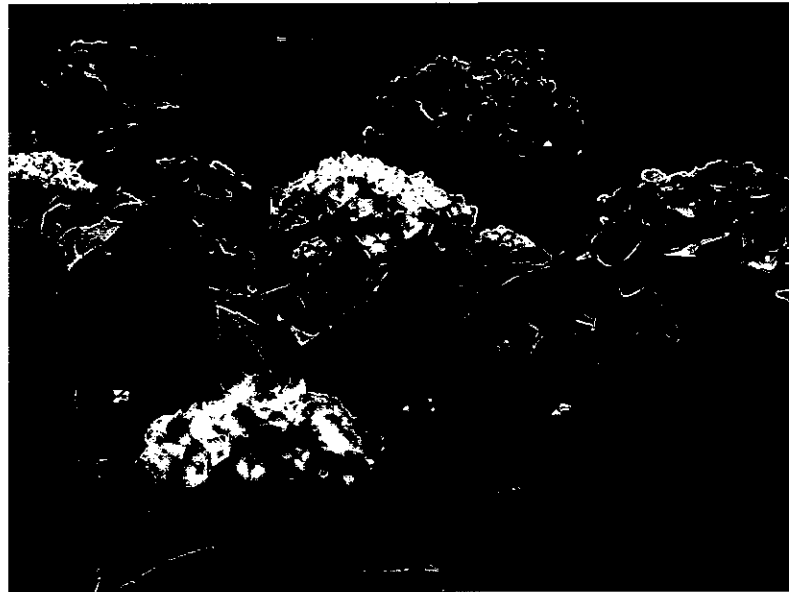
11:50～ 検食、確認後→リフトで運ぶ



12:15~「今日の給食は、何かな？」
教室で給食準備



ありがとうございました



～子どもの目線に立ってみよう～

「給食試食会および栄養士さん・調理師さん他のお話」のご報告

《6月15日(木) 12:00～13:30ランチルームにて》

今年度の家庭教育学級は「子どもの目線に立ってみよう」をメインテーマにして3回開催されます。第1回目は、給食試食会とともに栄養士さん・調理師さんからのお話を聞く会を開催しました。1年時には給食参観で子どもたちの給食に接する姿を見る機会がありましたが、今回は栄養士さん・調理師さんのお話にも重きを置き、約6割は2年生以上のお母様方から参加をいただきました。

当日は、世田谷区の社会教育指導員の方からもお話をいただき、世田谷区はPTAとのつながりが強い事、給食についての強化ガラスの食器や配膳作業に込められた意味など独自の活動を知るとともに、「栄養士さんや調理師さんからの話を聞くのは珍しい」など、今回の試みを賞賛いただきました。(42名の保護者の方にご参加いただきました。当日のメニューはキーマカレーでした)

また栄養士さんたちのお話では給食ができるまでの流れをスライドを使ってご説明いただき、今回のメニューの作り方、給食内容、衛生管理等のしおりとともに給食ができるまでの仕組みがよくわかる内容でした。

ご参加いただいた方々のアンケートを拝見しますと、「とても手間をかけて子どものことを考えられていることがわかった」、「野菜は3回も洗うとか、カレーのルーが鶏ガラスープと粉から手作りである等、手をかけていることに驚いた」、「サラダにフライドポテトと言う組み合わせなど、一手間かけているところが素晴らしい」、「レシピを教えて欲しい」、「家の食事より美味しいと子どもが言う理由がわかった」、「2400円の食器素敵です」、「給食のありがたみを理解しました」、「1年生の時の試食会には都合で参加できなかったのも、やっと聞きたかったことを聞けました」等々、参加者の方々にも非常に好評であったことがうかがわれます。コメントの一つ一つがしっかりと記述されていることから、出席されたの方々にもお役に立てたのではないかと考えております。

